

ロボコールセンター拡充

グリーン・シップ 調査・督促・連絡用途

グリーン・シップ（東京都千代田区、田中明子社長、03・4405・7163）は、仮想ロボットが電話回線での応答とショートメッセージサービス（SMS）を使って相手の本人確認を取りつつ各種調査や支払い督促、一斉情報提供などの業務ができるクラウド型サービスの用途を拡大する。保育園、幼稚園の保護者との連絡のほか自治体の税務、災害関連、中小企業の業務への採用を目指す。

保育園・自治体・中小向け

仮想ロボットのサーロボットが同時に多数の回線と合成音声や録音センターは、1台の音の音声でやりとりす

る。ロボットが電話をかけてあいさつし、要旨を説明した後、本人確認をダイヤルやSMSで行い、本人確認後にアンケートや督促な

どの要件をメールや音声で伝える。

ロボット1台で25人の仕事ができ、24時間電話をかける（架電）ことや、電話を受ける（受電）の対応が可能。

現在約40社のユーザーと契約し、支払い督促や各種調査で採用されている。音声対話のデータは管理でき「言

った、言わない」といったトラブルを防いだ。今後、自治体での税務関連の確認や情報提供、督促などのほか、風水害などの災害発生時に住民への一斉電話で避難情報を伝える業務向けのサービスパッケージを提供する。同様に、保育園など向けに保護者からの「今日は休みます」といった欠席の連絡の受電や、預かる幼児が病気になる際「迎えにきてください」といった連絡を自動で行うようなサービスを構築する。

中小企業向けには、用途に合ったサービス

を構築する考え。再配達の督促、各種情報の事前告知など多様な用途に対応していく。

グリーン・シップは2008年設立。テレマーケティングサービスやシステム開発が主な業務。